

## 用語解説

●**ナローバンド**  
アナログ回線やISDNなど、電話線を使ったこれまでのインターネット回線のこと。帯域が狭く、動画や音声のような情報の大きいものを送ることは向いていない。

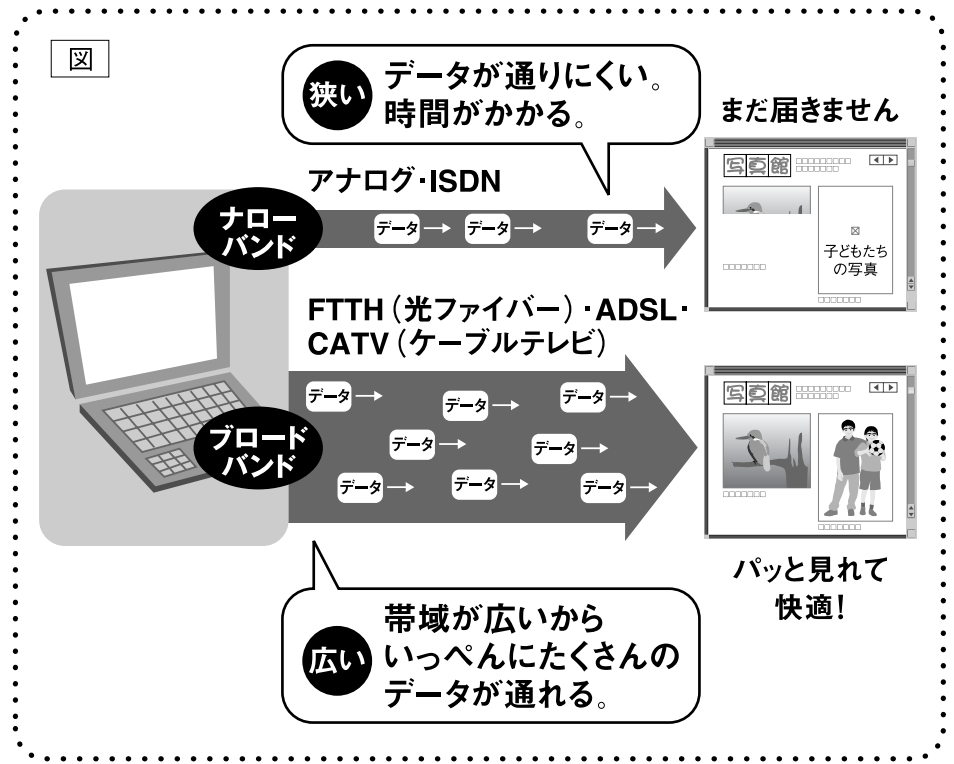
●**ブロードバンド**  
近年登場した高速なインターネット回線のこと。ADSLや光ファイバーなどがあり、これが普及するとインターネットは新たな段階に入ると言われている。

●**一般ブロードバンド回線**  
通信速度が144kbps以上30Mbps未満のインターネット回線のこと。具体的にはADSLやCATVなどを指している。

●**超高速ブロードバンド回線**  
通信速度が30Mbps以上のインターネット回線のこと。具体的には光ファイバー(FTTH)などを指している。

●**帯域**  
周波数の範囲のこと。範囲が広いほど転送速度が向上し、通信速度が速い(遅い)ことを指して「帯域が広い(狭い)」と言う。

## 通信速度の高速化が世界を変える



自宅のパソコンを使ってインターネットで映画を観たり、テレビ電話で自宅に居たまま、まるで教室にいるように英会話などの習い事ができる。そんな便利さを実現してくれるのが、近ごろ新聞やテレビなどで見かける機会が増えた「ブロードバンド」の世界。ブロードバンドとは、日本語で「幅が広い帯域」という意味で、インターネット回線の中でも情報が通る帯域の幅が広いため、多くの情報を素早くやりとりできるようにになっている(図)。簡単に言うと、「インターネットの高速道路」だ。その速さは従来のインターネット回線(ナローバンド)のなんと25倍以上(表1)。これまでインターネットを使ってパソコンに映画1本の情報を送るには125時間かかっていたところが、ブロードバンドでは約10分〜2時間で済んでしまう。「動画配信」や「音楽配信」といった言葉もよく耳にするようになったのは、ブロードバンドの普及がそのようなサービスを可能にしたからだ。また、インターネットは世界中とつながっているため、アメリカや韓国など海外のテレビ番組やスポーツ中継を見ることがもできる。「ブロードバンド」は、数十年前まで空想の世界でしかなかった便利さを私たちの生活にもたらしにくれると言っても過言ではない。

自宅のパソコンが教室に。  
それが、ブロードバンド

表1 通信速度の比較

右端の欄の数値を見て分かる通り、ISDNから見るとFTTHの速さは桁違い!

サービス名称	速度 (bps)	速度の単位を揃えて表現すると
電話回線 (アナログ)	(下り) 56.0k (上り) 33.6k	56 34
電話回線 (ISDN)	128k	128
ADSL通信	(下り) 12M (上り) 2M	12,000 2,000
FTTH	100M	100,000

※「下り」とは、インターネット網からパソコンにデータが流れる方向。「上り」は、その逆方向。

特集

# わがまちの ブロードバンド事情

最近、よく耳にする「ブロードバンド」とはいえ、それが日常生活においてどんなに便利で、メリットがあるのかは、まだまだ知られていない。ブロードバンドのある生活とは？  
石狩市における「ブロードバンド事情」について取材した。

## e-Japan戦略

国は1990年代後半から情報通信技術が急速に普及したものの本格的な定着には至らなかったため、2001年に「2005年までに世界最先端のIT国家となる」ことを目標とする『e-Japan戦略』を策定。目標を予定より早くに実現するが、一方でITの利活用が不十分であるとの認識が高まったため、基盤整備から医療・教育・行政サービス等における利活用に重点を移した「e-Japan戦略II」を2003年7月に策定し、展開している。

## 石狩市地域情報化計画

石狩市においては2002年1月から「石狩市IT戦略推進本部」を設置。IT関連施策推進に係る総合調整などを展開している。今年7月に『地域情報化計画』を策定。ITを利活用することによる、市民・行政・事業者の交流の実現、新しい生活様式や就業形態の実現、新しい産業の成長などをはぐくむための方針を打ち出した。今後、本計画をガイドラインとして、市民にとって利便性の良い行政サービスを行っていく予定である。

参照URL:[http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/ssanka/pdf/h160103\\_siryou2.pdf](http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/ssanka/pdf/h160103_siryou2.pdf)

## 地域イントラネット等 基盤施設整備事業

『石狩市地域情報化計画』の中で、最初に取り組む予定なのが、「地域イントラネット整備事業」。この事業により、市内の市役所本庁舎を始めとする公共施設を超高速インターネット回線で結び、情報の「共有と一元化」を図っていく。この整備事業は、「石狩市・厚田村・浜益村合併協議会」で提案された「合併まちづくりプラン」に盛り込まれている。

参照URL:<http://www.ishi3-gappei.jp/contents/contents08/keikaku.html>